

第12単元 単位量あたりの大きさ①

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	25 (各5)	《1組》式 $108 \div 12 = 9$ ($12 \div 108 = 0.111\dots$) 1 m^2 あたり9本 (完答) (1本あたり約0.111 m^2) 《2組》式 $95 \div 10 = 9.5$ ($10 \div 95 = 0.1052\dots$) 1 m^2 あたり9.5本 (完答) (1本あたり約0.105 m^2) 答 ②組の学級園	[知技]単位量あたりの考えを理解し、混み具合を比較することができる。	「1 m^2 当たりの花の数」か「1本当たりの面積」で比べられることを確認する。「1 m^2 当たりの花の数」で比べると、混んでいるほど数が大きくなり、混んでいるというイメージがつかみやすいことにも気づかせる。
	10	式 A市… $160000 \div 48 = 3333.3\dots$ B市… $90000 \div 26 = 3461.5\dots$ 答 B (市)		
③	10	式 A… $490 \div 35 = 14$ B… $580 \div 40 = 14.5$	[知技]単位量あたりの考えを使って、問題を解決することができる。	問題文から、数量の対応関係を確認させる。数量が比例関係にあると考えて、数直線などに表し、単位量あたりの考えを用いればよいことに気づかせる。
	5	答 B (の自動車)		
④	10	式 $480 \div 15 = 32$ $480 \div 16 = 30$ $32 - 30 = 2$		
	5	答 2L		
⑤	10	式 $120 \div 15 = 8$		
	5	答 8 m^2		
⑥	10	式 $15 \times 120 = 1800$		
	5	答 1800本		

第12単元 単位量あたりの大きさ②

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① ㊦ ② ㊥ ③ ㊦ ④ ㊵	[思判表]単位量あたりの大きさを2通りの方法で考えている。	「～当たり」という場合の～に着目させる。
	① ㊦ 20 ① 160 ② □を使った式 $20 \times \square = 160$ ($160 \div 20 = \square$) 答 8 m^2		

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	8～6問	5～4問	3問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。